

# 世界遺産通信

## IN 本宮中学校

令和5年12月 vol.12

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～

和歌山県世界遺産センター発行

### フィナーレを飾る英語語り部

12月9日(土)、田辺市にある紀南文化会館で世界遺産学習全国サミットが行われました。本宮中学校3年生9名は平安衣装を纏っての発表となりました。サミット本大会の実践発表でラストを飾っていただきました。入場では、白煙の中、熊野古道を感じさせるBGMとともに山伏姿の職員が先に登場し、その後をついて平安衣装姿の中学生が登場してきました。凄く似合っていて平安時代にタイムスリップして「蟻の熊野詣」をみている気分になりました。いざ始まると、英語のみでの発表ですが中学生だと思いました。一人ひとり役割を分けて、各スポットの説明や、神社の参拝の仕方を教えていただきました。パワーポイントのスライドには、英語と日本語のどちらも使われていてお客さんにとっても分かりやすい内容となっていました。これまでの頑張りが十分に伝わる内容だったと思います。このような一生に一回しかないような貴重な体験に誇りを持ち、次に進んでほしいと思いました。本当にお疲れ様でした。

### ALTハマディのお話

一緒にやった語り部学習よりも本番の方が上手でした。英語での語り部は、よく使う英語ではないので難しいがしっかりと出来ていたと思います。実際に英語で質問をしても答えることができていたのは努力の成果だと思いました。これからも英語を使う機会を増やして本宮大社の案内などを外国人観光客にしてほしいと思いました。

### 校長先生のお話

世界遺産学習全国サミットに向けて例年よりも2ヶ月早く取り組みました。本番に向けてのリハーサルも5回行いました。本宮町内の小学校、文化祭での発表などです。その際には、地域のたくさんの方々に携わっていただきました。観光協会、語り部の会、世界遺産センター、保護者の皆さまです。当日は、チーム本宮としての発表のトリを飾れたんじゃないかなと思います。大きな舞台でこれまでの学びをアウトプットすることで子どもたちは更なる成長ができました。終わった後の自信めいた充実感溢れる表情が物語っているなど感じました。関わっていただいた全ての人に感謝です。本当にありがとうございました。

### 地域に根差す道普請活動

12月13日(水)、本宮中学校全校生徒28名が道普請に取り組みました。今年で12回目となり、地域の本宮語り部の会の皆さんとタッグを組んでの活動となりました。地域で世界遺産を守る活動が恒例行事となっている本宮中学校。土を運んで、土を補充する作業で大変ではありますが生徒同士楽しみながら、また地域の皆さんとも交流を図りながらできる活動にはどこか地域をつなぐ要素があるのではないかと感じました。永遠に道を直していく必要がありますがみんなで守っていくきっかけになると感じた1日でした。

